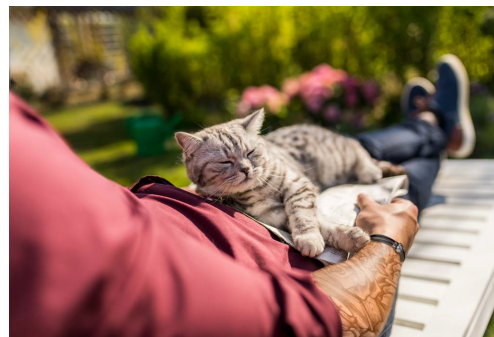




猫は病院が苦手!

猫に動物病院でストレスをかけないための受診方法のコツ

動物病院への通院は、愛猫の健康を維持するために不可欠です。しかし、猫は繊細な動物なので、動物病院が苦手である傾向があります。今回は、そんな猫に動物病院でストレスをかけないための受診方法のコツや、気をつけておきたいことなどをまとめました。



猫はストレスに弱い動物

大前提として、猫はストレスに弱い動物であることを知っておきましょう。例えば、引っ越し、知らない人の来客、家の周りの騒音、トイレの汚れ、留守番、キャットフードの変化、新しい猫との多頭飼育など、慣れ親しんだ環境に変化が少しでもあると、猫は強いストレスを感じます。

そのような観点から、動物病院への通院も、猫にとってはストレスの要因となります。

ストレスが原因のかかりやすい病気

ストレスを原因とする猫の代表的な病気の症状としては、食欲不振、胃腸炎、嘔吐、下痢、グルーミングのしすぎによる心因性の脱毛、猫ヘルペスウイルス感染症、突発性膀胱炎、猫伝染性腹膜炎などが挙げられます。

動物病院への通院時に猫のストレスを抑える方法

・動物病院への通院で使用するキャリーケースに普段から慣れさせておく

動物病院への通院で使用するキャリーケースを、部屋に常に出しておき、普段から出入りしたり、中で眠ったりできるようにしておくと、通院が必要になった時もスムーズにキャリーケースに入ってくれます。

・キャリーケースは入れる際や移動中にストレスがなるべくかからないものを選ぶ

キャリーケースは布製のものを選ぶよりも、プラスチック製のものを選ぶほうが、居住性が高く、運ぶ際にも安定感があって、猫にストレスがかかりにくいです。

・キャリーケースに興味を持ってもらうために、好きなおもちゃを中に入れる

キャリーケースに普段から興味を持ってもらう方法として、猫が好きなおもちゃを常に中に入れておき、通院中はキャリーケースの中におもちゃを入れ、中で遊んで気分を紛らわせるようにしてあげることが大切です。

・移動中のストレスを和らげるために、おやつを用意する

移動中のストレスを和らげるために、おやつを用意して、通院中に与えるのも良いでしょう。ただし、移動中に大量におやつを与えると、揺れに酔ってしまうリスクも考えられるため、なるべく少量で、手短かに与えられるおやつを準備しておきましょう。

動物病院での受診時に猫のストレスを軽減させるための方法

・事前に予約を行い、待合室で待機しなければならない時間をできる限りなくす

動物病院は事前に予約を行うようにしましょう。予約なしで通院すると、受診待ちによって猫にストレスを与える可能性があります。

・かかりつけの動物病院を決め、通院する病院自体をなるべく慣れた環境にする

通院する動物病院を毎回変えると、猫は新しい環境に適応しなければならないため、その都度ストレスを感じるようになってしまいます。よほど猫と相性が合わなかったり、獣医師の対応が悪かったりしない限りは、なるべく同じかかりつけの動物病院を決めて、通院する病院自体を猫にとって慣れた環境にすることが大切です。

動物病院に入院することになった場合に猫のストレスを軽減する方法

・猫が入院する際には、猫が普段使っている毛布やおもちゃなどを必ず用意する

猫が家で普段から使っている毛布やタオル、おもちゃなどを差し入れし、少しでも慣れ親しんだ環境で感じている匂いなどが入院先でも感じられるように工夫をしてあげることが大切です。

・猫の普段からの生活習慣や習性を、動物病院の獣医師に適切に伝える

ご飯の時間、眠る時間、遊ぶ時間など、猫の普段からの生活習慣や習性を、動物病院の獣医師に適切に伝えることにより、家で過ごしている環境に近い対応をしてもらえるように工夫してもらうこともできるでしょう。

・スムーズに入院の手続きができるように、かかりつけの動物病院へ普段から相談しておく

猫はストレスに弱く、繊細な動物であるため、万が一の時にもスムーズに入院の手続きができるように、かかりつけの動物病院で普段から入院の方法などを聞き、相談を行っておくとよいでしょう。

猫の体調が悪い場合には、通院や受診時にかかるストレスを抑え、早期に動物病院で獣医師の診断を受けましょう

重要なことは、先にもお伝えした通り、かかりつけの動物病院を決め、猫に医師や看護師に慣れてもらい、万が一の際にもスムーズに通院・診察・治療・入院などを行うことができることです。

ストレス耐性については個体差もありますから、動物病院で受診を受ける際には、愛猫の傾向を獣医師からアドバイスしてもらい、ストレスの軽減対策に努めることが第一です。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →



MSD
Animal Health

JP-BRV-210600011